

「アース・モンダミンカップ2022」コース管理ボランティア



inカメラアヒルズCC

今年で11回目となったLPGAツアー『アース・モンダミンカップ2022』（6639ヤード・パー72）が6月23日からカメラアヒルズCC（千葉県袖ヶ浦市）にて開催され、木村彩子の6打差からの逆転優勝（4アンダー）で幕を閉じた。

強風の影響でスコアの伸び悩む選手が多かったが、天候が崩れることはなく、無事に4日間の競技が行われた。

今年も大会2日目のコース管理ボランティアに参加したので、編集部が感じたトーナメントコース管理ボランティアについて紹介したい。

6月24日（大会2日目）コース管理ボランティア・午前作業

昨年のアース・モンダミンカップコース管理体験から一年が過ぎた。今回も『アース・モンダミンカップ2022』のコース管理を手伝わせていただくことが決まり、宿泊手続きを無事に済ませることができた。

6月23日（大会1日目）の夜に前泊し、翌日朝3時に起床、3時

早朝のコース管理課とミーティング風景



半に同じ宿泊先に宿泊していたフリーコースマンの岡崎望氏の車に今年も同乗させていただき、ゴルフ場に向かった。

現地に到着後、4時20分からコース管理課でミーティングを行った。例年よりボランティア参加者が減ったとのことだが、多くのゴルフ場コース管理関係者が参加していた。

コース管理作業は、グリーン刈り・ティ刈り・カップ切り・バンカー整備・コ



大会2日目のバンカー清掃、この作業で足腰が鍛えられる

コース清掃の班に分かれて4時半からそれぞれの業務を開始。

私はOUTコースのバンカーの清掃を担当し、カラスや小動物の足跡が目立っていたため、手作業で均した。

リーダーの指示や同じ班になった方からバンカー均しのコツを教わりながら、バンカー清掃に取り組んだ。各メンバーの取り組みを見ると、コース管理に対する情熱が伝わってくる。作業

の合間の休憩時間にイノシシ対策や現在のゴルフカート事情など色々な話で盛り上がった。

小休止後は、引き続きバンカー清掃を開始。早朝からかなり暑かったが、私は他の人の取り組みを参考にしながら、必死に自分の作業に集中した。

作業後、アース・モンダミンカップ2022のコース管理での鳥獣害対策、こだわりや改修された2番ホールについてカメリアヒルズCCの廣部裕一郎グリーンキーパーからお話を聞いた。

大会に向けた鳥獣害対策について

今年も昨年度に続き、鷹匠によるカラスの追い払いを行いました。今年は大大会期間中を避け、ひと月前の5月に行っております。効果としては今年の方があったように感じています。またカラス被害の多いグリーンにはリール付きの釣り竿を用いて夜間グリーン上にテグスを張り巡らしています。リールなので翌朝の巻取りも容易なうえ効果は抜群なのでカラスによるグリーン被害に悩まされているコースさんにはおすすすめです。



釣り竿によるカラス除け

4月に猪の侵入があり、コースを取り巻くフェンスの確認を行ったところすぐに侵入経路を発見することが出来たため、直ちに応急で塞ぎ、事なきを得ました。

その後もコース内では芝地の被害は小さいものの、猪の痕跡を何度か発見したため、改めて外周フェンスの点検と補修を行い脆弱な箇所をピックアップし補強のための猪用フェンスを購入しました。他にはミミズ対策としてティ、フェアウェイの出やすい箇所には椿油粕を大会2週間前に散布しています。

コースセッティングについて

各芝地の刈り込み高さは昨年同様でグリーン3・0mm、ベントカ

ラー6・0mm、ティ8・0mm、フェアウェイ10mm、ラフ80mmとなっております(同大会ではフェアウェイにファーストカットは設けていない)。

2番Hを改修したのですが、コース改修に特に工夫した・苦労したことは？

昨年から今年にかけて距離の短い池の絡んだ2番ホールにセカンドショットのプレイアビリティと景観の向上を狙った改造工事を行いました。

苦労と言うほどではないのですが、昨年工事の始まる7月から使用開始されるテンポラリーグリーンには気を使いました。4月から急造した本来のものより小さなベントグリーンの夏越しはひやひやものでした。

トーナメントコース管理で特にこだわったこと

全てと言いたいところですが、準備のための時間も人員も限りある中でのことです。これは普段の作業する時にも常に意識していることですが、ホール全体にまとまりのある美しさが感じられる



フリーコースマンの岡崎氏によるグリーン刈り作業



カップ切りを行うスタッフ

には何をしたらいいのか考えながら作業しています。

次に、コース管理ボランティアの参加者からコメントをいただいたので紹介しよう。



岡崎グリーンメンテナンス代表 岡崎望氏

トーナメント管理でこだわっている事

岡崎 通常のコースメンテナンスとは異なり、トーナメント関連作業は失敗が許されない部分がありますので、注意を払い緊張感を持って作業を行っております。

また、刈る場所によっては技術や仕上がりが要求される場合があるので、真つ直ぐの所は真つ直ぐ！曲線の所は曲線なりに技術を活かした刈り方を心がけております。

トーナメントの感想、来年の意気込みやゴルフ場業界に向けて

岡崎 アース・モンダミンカップ

のお手伝いを始めて今年で8年になります。いつ来ても綺麗なコースですし、管理スタッフ皆さんの対応も気持ちいいです。

管理意欲を掻き立てる様なワクワクする気持ちになります。

来年のコースはどの様に化するのか、またそのコースにフリーコースマンとしてどの様に対応するか楽しみです。

また、今後はコース管理スタッフ減少が懸念される中、私の様に「フリーコースマン」を増やしカメリアさん（アース・モンダミンカップ）を始め、他コースへ少しでも手助け出来るように募集し広めてコースを守っていきけるようにしたいです。

ユーキサププライズ 會田快児氏

アース・モンダミンカップポランティア作業に初参加の感想

會田 当日はコース管理の方が一緒に付いて、バンカーの均し方や清掃の仕方などを丁寧に説明、指導して下さったので、初めての参加でしたが、安心して作業をすることが出来ました。

25日の朝は、強風が吹いた為に、段取りが大きく変わることになりましたが、キーパーを始め、コース管理課やゴルフ場の方々が慌てる事なく競技の準備を進めていく姿はとても勉強になりました。

さすが大きなトーナメントを続けて開催しているゴルフ場だと思いました。

来年のアース・モンダミンカップへの意気込みや今後の取り組み、ゴルフ業界へ向けて一言

會田 来年もアース・モンダミンカップを応援出来ればと思います。中国の輸出制限やロシアによるウクライナ進攻によって化学肥料原料の調達に支障が出ており、ゴルフ業界も大変な時期が続いておりますが、多くの人達がゴルフを楽しめるようにお役に立てれば幸いです。

コース管理作業ポランティア 休憩時間〜午後作業〜

早朝のバンカー清掃後は、コース管理課そばに設置されたテント内で朝食が摂れる。トーナメントのコース管理の仕事は早朝と午後の2回。午後の集合時間は16時からなので、空き時間はトーナメントを観戦したり、仮眠を摂ったり、食事をしたりと自由に過ごすことができた。

せっかくのトッププロを間近で見られるチャンスなのでプロのショットを食い入るように見つめた。(アースモンダミンは選手との距離も近い)

今回私が特に注目したのは、自分が苦手とするドライバースョットだ。強風のため、アドレスに入りづらい印象が目立ったが、各出場選手のドライバースョット技術は圧巻だった。いつか私もこんなドライバースョットを打つてみたい。

ポランティアスタッフが休憩している間、同CCCのコース管理スタッフ機械整備担当者は、念入りに機械メンテナンスを行っていた。選手が集中してプレーができる環境を整えるために、常に抜かりない整備作業をする姿に私は心を打たれた。



タリーズコーヒーも出店

午後作業は、強風の影響でプレー進行が遅れたため、17時からの開始となった。私は、午前中の作



機械メンテナンス、一つ一つの作業が選手のプレーを支えている

緊張があつたが、コース管理スタッフの方々のフォロワーのおかげで一日のコース管理作業を無事に終えることができた。
 帰りはゴルフ場から最寄りの駅まで、近隣ゴルフ場のグリーンキーパーの車で送っていただき、電車で帰宅した。今年もあつという間に時間が過ぎ、充実した一日を送ることができたと思う。
 後日、来年のアース・モンダミンカップについての廣部グリーンキーパーからの意気込みと同CCコース管理課各スタッフからコメントをいただいた。

業に続きOUTコースのバンカー清掃を担当した。作業が進むにつれて砂の扱いにも慣れ、バンカー整備にも一層熱が入った。アウトコース一つ一つを担当メンバーと力を合わせながら、翌日のトーナメントに向けて準備を進められたと思う。現地に入る直前まで多少の

高橋 今年もトーナメントを終え
 昨年より自分
 が成長出来ていたことが実感できました。
 しかしまだまだ覚えること、気にかけておくことが、沢山あることにも気付きました。来

廣部キーパー 当コースを選んだくださった大会スポンサー様にはリカメリアヒルズは間違いのない、今年もこのコースで良かった。と満足してもらえらる会場作りをしたいと思っております。
 コース管理課、若手スタッフ（鶴岡さん、高橋さん、鈴木さん）からのコメント
 鶴岡 自分が国内最高金額のトーナメントに携われていること、無事トーナメントを終えることが出来たことに喜びを感じています。来年のモンダミンカップが今年より更に良いものになるように日々の作業を頑張っていきたいと思います。



今大会で使用した硬度計「FieldScout TruFirm」



年の大会に向けて日々精進していきたいと思えます。
 鈴木 トーナメント作業は毎年大変ですが無事終えられた時の充実感は貴重なものだと思えます。大変な思いをするほど自身も鍛えられ成長できていると実感しています。
 以上、皆さんコメントありがとうございます。今年もコース管理ボランティアに参加させていただき、廣部グリーンキーパーをはじめゴルフ場関係者の方々、皆さんに改めて感謝したい。
 これからも、ゴルフ場コース管理の現場を経験しながら活きた業界知識を身につけていきたい。